[RMS機能 PDFViewer]ドキュメント

株式会社エフエスクリエーション

os-pj@fscreation.co.jp

**１．OS環境**

PDF Viewerは、32bit環境、64bit環境のプログラムが存在します。

・OSが32bitの場合　PDFViewerSource\_x86フォルダのソース

・OSが64bitの場合　PDFViewerSource\_x64フォルダのソース

をご利用ください。

**２．動作環境**

２－１．必要ソフトウェア

PDF Viewerの動作には、下記ソフトウェアのインストールが必要です。

・.NetFrameWork（3.5以上）のインストール

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17851>

・Microsoft Online Services サインイン アシスタント

<https://www.microsoft.com/ja-jp/Download/details.aspx?id=28177>

・Rights Management Service Client 2.1

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=38396>

２－２．制限事項

1. RMS情報のフォルダの削除

RMS復号化に一度失敗した場合、自動的に、クライアントに保存されたRMS情報の削除を行います。

しかしながら、RMS情報の削除ができない場合があります。

RMS情報が残っており、ログオン出来ない場合には、下記フォルダの削除をお願いします。

＜RMS情報フォルダの削除（下記フォルダ配下のファイルを削除）＞

C:\Users\[UserName]\AppData\Local\Microsoft\MSIPC\

1. PrintScreenの制限

PrintScreenキーを制限しており、PDFViewerが起動時には、全画面キャプチャーおよびALT+PrintScreenによるPDFViewerの画面キャプチャーが出来ません。

ただし、他のアプリケーションのアクティブウィンドウで、ALT+PrintScreenを押すことで、該当アプリケーションのウィンドウの画面キャプチャーは可能です。

**３．プログラム解説**

　プログラムは、下記のとおり動作しています。

1. RMS保護判定

PDFがRMSで保護されているかどうかを判定

・保護されている場合、２：ライセンス抽出へ

・保護されていない場合、６：パスワード判定へ

1. ライセンス抽出

RMS化PDFファイルから、ライセンス情報を取得

1. 復号鍵を取得

RMSライセンスから、復号鍵を取得

1. 権限判定

該当ユーザーに、VIEWの権限があるかどうかを確認

・VIEWの権限がある場合、５：復号化へ

・VIEWの権限がない場合、終了

1. 復号化

本文情報を復号化し、パスワードつきの一時ファイルに保存。

1. パスワード判定

パスワードで保護されたPDFかどうかを判定

・保護されている場合、ダイアログでパスワード入力を行い、１．RMS保護判定へ

・されていない場合、７：RMS保護判定へ

1. RMS保護判定

PDFがRMSで保護されているかどうかを判定

・保護されている場合、一時ファイルを開き、終了（一時ファイルを削除）

・保護されていない場合、PDFファイルを開き、終了

その他の動作　PrintScreen制御

PDFViewerの起動中は、PrintScreenキーでの画面保存を制限しています。

ただし、ALT＋PrintScreenで、他のアプリケーションが画面保存することは可能です。

**４．補足（権限リストの抽出について）**

今回、「VIEW」の権限のみを判定していますが、下記の部分の修正により、さまざまな権限の抽出が可能です。

＜＜場所＞＞

ソース名：

PDFViewerForm.cs

Class名：

PDFViewerForm

メソッド名：

private bool LoadFileByStream(string fileName)

場所：

bool accessGranted = SafeNativeMethods.IpcAccessCheck(keyHandle, "VIEW");

権限がある場合、bool accessGranted に True　が返されます。

＜＜権限判定の追加サンプル＞＞

//印刷権限の取得

bool printGranted = SafeNativeMethods.IpcAccessCheck(keyHandle, "PRINT");

//編集権限の取得

bool editGranted = SafeNativeMethods.IpcAccessCheck(keyHandle, "EDIT");

※権限種類の詳細は、下記リンクをご参照ください。

<https://msdn.microsoft.com/en-us/library/windows/desktop/hh535295(v=vs.85).aspx>

以上